

募集

市立小学校新1年生の生活指導補助者

勤務期間4月1日～5月31日、計33日以内

内新しい生活環境に適切に慣れ親しむことができるよう、各小学校で児童を見守り手助けする

報酬時給940円(別途交通費支給)
※詳細は町田市ホームページをご覧ください。

選考書類・面接
※応募に必要な書類は郵送しますので、ご連絡下さい(町田市ホームページでダウンロードも可)。

申1月23日まで(必着)
※勤務希望確認書で回答済みの場合は応募不要です。

問指導課☎724・2154

保健予防課臨時職員

歯科衛生士

対歯科衛生士資格を有する方=若干名

勤務期間採用決定の翌月から2017年3月末まで(更新も有り)

勤務時間午前8時30分～午後5時の1日3～6時間程度(日数・時間は応相談)

内乳幼児の歯科健康診査における健診補助・保健指導・予防処置、障がい

のある方の歯磨き指導等
勤務場所健康福祉会館 他
報酬時給1450円(別途交通費支給)
※詳細は町田市ホームページをご覧ください。

選考面接
申保健予防課へ電話のうえ、歯科衛生士免許の写しと履歴書を郵送。

問保健予防課☎725・5437

お知らせ

ご協力下さい 正しいごみの分別

ごみをきちんと分別しないと事故の原因になり、ごみの収集がストップしてしまう場合があります。「スプレー缶」や「ライター」は、絶対に燃やせないごみに出さないで下さい。
※資源とごみの出し方を案内した冊子は、市庁舎、各市民センター等で配布しています。ごみは正しく分別しましょう。

市HP [資源とごみの収集カレンダー] 🔍
問3R推進課☎797・7111

使い終わったインクカートリッジは回収ボックスへ

市では、使用済みインクカートリッジを回収してリユース、リサイクルしています。

回収ボックス設置場所市庁舎、各市

民センター、町田リサイクル文化センター、各リサイクル広場
※各施設の開庁(開館)時間にお持ち下さい。

回収対象品ブラザー、キヤノン、デル、エプソン、日本ヒューレット・パッカーの純正品

※事業者から排出されるものは対象外です。

問3R推進課☎797・0530

ご意見を募集します

【①(仮称)町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン(素案)】

市は、2011年3月に策定した「町田市北部丘陵活性化計画」を推進するため、「(仮称)町田市北部丘陵活性化計画アクションプラン」を策定します。

担当課北部丘陵整備課(〒194-8520、森野2-2-22、FAX050-3160-4568) mcity2740@city.machida.tokyo.jp

【②町田市観光まちづくり基本方針(素案)】

「観光」を活用して、人の交流を増やし、地域活性化・経済活性化を図るために、町田市観光まちづくり基本方針を策定します。

基本方針期間2017年度～2030年度の14年間

将来像住んでよし、訪れてよし、交流感動都市まちだ

内方針1=町田ならではの地域素材の魅力の洗い出し・磨き上げ、方針2=観光まちづくりの担い手と態勢(体制)づくり、方針3=地域素材が持つ魅力の伝達

担当課産業観光課(〒194-8520、森野2-2-22、FAX050-3101-9615) mcity2700@city.machida.tokyo.jp

【③(仮称)町田市子育て世帯の自立応援プロジェクト実施計画(素案)】

市は、子育て世帯に対する支援を充実させるために「(仮称)町田市子育て世帯の自立応援プロジェクト実施計画」を策定します。計画は、子育て支援に精通する組織の代表者が集まり、審議を重ね、作成したものです。

担当課子ども家庭支援センター(〒194-8520、森野2-2-22、FAX050

・3101-9631) mcity2750@city.machida.tokyo.jp

資料の閲覧・配布市政情報課・広聴課(市庁舎1階)、男女平等推進センター(町田市民フォーラム3階)、生涯学習センター、各市民センター、町田・南町田・鶴川の各駅前連絡所、木曾山崎・玉川学園の各コミュニティセンター、各市立図書館、町田市民文学館、①②のみ小野路宿里山交流館、①のみ北部丘陵整備課(市庁舎9階)、②のみ産業観光課(市庁舎9階)、③のみ子ども総務課・児童青少年課・子ども家庭支援センター(市庁舎2階)、すみれ教室、ひなた村、大地沢青少年センター、各子どもセンター、学童保育クラブ(中央・子どもの森桜台・相原たけの子・三輪子どもの学園・つるっこ)、各地域子育て相談センター

提出方法書面にご意見・住所・氏名・電話番号を明記(書式は自由、所定の書式も有り)し、①②12月16日～1月16日(必着)、③12月26日～1月16日(必着)に、直接、郵送、FAXまたはEメールで各担当課へ。

※①②は、資料を配布している各窓口でも提出できます。

※郵送の場合は資料に添付している専用封筒(料金受取人払郵便)をご利用いただけます。

※資料の閲覧・配布窓口は、それぞれ開所日・時間が異なります。

※資料は町田市ホームページでもご覧いただけます。

【注意事項】

○電話、窓口での口頭によるご意見は、お受けできません。

○ご意見に対する個別回答は行いません。

○公序良俗に反するもの、特定の団体、個人等に対する誹謗中傷が含まれるものは無効とします。

○寄せられたご意見の概要及び市の考え方は、個人情報を除き、①②3月③2月中旬に町田市ホームページに掲載する予定です。

問①北部丘陵整備課☎724・2164

②産業観光課☎724・2128③子ども家庭支援センター☎724・4419

カワセミ通信120

町田市長 石阪丈一

冬晴れの日が続くようになりました。今年の冬は少し寒さが厳しいとの予報が出ています。風邪など召されぬようご自愛下さい。

久しぶりに、相原中央公園で鳥見をしました。シジュウカラやメジロなどの混群のほかは目立った小鳥類は見られませんでした。もう少し冬が深まると、種類も多くなると思います。それでも、冬によく見られる猛禽のハイタカやノスリが青空に舞っていました。

広袴公園の調整池の鴨類は種数が少なく、留鳥のカルガモのほかは15、6羽のオカヨシガモくらいです。サギは、ダイサギ、コサギがいつも柳の木にねぐらをとっているほか、ゴイサギやアオサギも見られます。もっとも、ゴイサギは夜行性ですので、昼間は小さな葦原にもぐって寝ていて、探さないと見つかりません。

さて、今年も11月末から1か月、「町田シバヒロ2016クリスマスフェスティバル」が開催されています。今年は、夕方5時に点灯するイルミネーションに加え、子どものためのメリーゴーランドも登場しました。そのキラキラとした光の中でのメリーゴーランドは、子どもたちみんなを笑顔にしています。

子ども、子育ての話題をもう一つ。

小田急線やJR横浜線の電車で宣伝広告を出してみました。車内のドアの上部のデジタルサイネージ広告に、「母がつくるまちだから」という15秒間の動画の広告を出しました。2週間でしたが、効果を検証中です。広告の中身は先般、市内の子育て中のママたちに編集をしていただいた、まちだ子育てブランドブックという子育て情報パンフレットの紹介です。

子育て情報に限らず、政策・施策は市民に伝わって初めて、理解され、使ってもらえるものです。今、町田市では、広報の媒体を増やしています。紙媒体、ウェブサイト、スマートフォン、屋外広告等を活用しています。今回は電車内での広告にトライしてみました。さらに、新聞の記事として掲載してもらうことも重視しています。これからもさまざまなメディアを活用していきたいと思えます。



イルミネーションのテーマは「ナイトサファリ」

「母子健康手帳アプリ」をご利用下さい!

市では、妊娠・出産・育児期の家族を継続的にサポートするため、スマートフォン・タブレット用「母子健康手帳アプリ」を導入しました。

アプリは母子健康手帳の記録を入力することで、データのグラフ化や、写真付きで成長の様子を電子化することができます。また、お子さん(胎児)の年齢や妊娠週数に応じて、市からさまざまな情報が届きます。母子健康手帳と併せてご利用下さい。詳細は町田市ホームページをご覧ください。

問子ども総務課☎724・2876



画像はイメージです

第3次町田市地域福祉計画 答申がまとまりました

「第3次町田市地域福祉計画」の答申がまとまり、11月2日に町田市地域福祉計画審議会会長の宮城孝氏(法政大学現代福祉学部教授)から市長へ答申書が手渡されました。

この計画は、互いにささえあい、誰もが自分らしく、くらし続けていくことができるまちの実現に向けて、2015年11月に市長から諮問を受けた同審議会が、検討を重ねて作成したものです。

問福祉総務課☎724・2133



会長の宮城氏から答申書が提出されました

公開している会議 傍聴のご案内

会議名	日時	会場	定員	申し込み
町田市文化プログラム推進計画策定検討委員会	12月21日(水) 午後6時～8時	市庁舎10階 会議室10-4・5	10人 (申し込み順)	12月20日午後5時までに電話で文化振興課(☎724・2184)へ
町田市地域公共交通会議	12月22日(木) 午後3時から	市庁舎3階 会議室3-1	5人程度 (申し込み順)	事前に電話で交通事業推進課(☎724・4260)へ